



伊予高等学校 2年

佐伯 朱脩 さん (左)
(肱東中学校出身)

岩田 莉子 さん (右)
(大洲北中学校出身)

伊予高校書道部に所属する佐伯さんと岩田さん。8月2日(日)、四国中央市で開催された「書道パフォーマンス甲子園」にチームの一員として初出場しました。同大会は、1チーム12人以内が、音楽に合わせて縦4m×横6mの巨大な紙に文字を書き、掛け声や動きを組み合わせ、書の美しさや表現力を競います。四国ブロックの枠はわずか3校。本戦出場校が発表されるYouTube配信を、部員全員で見守り、出場が決まった瞬間には歓声を上げ、涙を流して喜びました。佐伯さんは「夢の舞台に行けるうれしさと驚きで手が震えた」と当時の興奮を語ります。

みんなで考えた作品のテーマは「帰趨」(きすう)。「人と関わることで新しい視点に気づき、同じ出来事でも見え方は変わる。どう捉えるかで人生は変えられる」という思いが込められています。大会直前は全国高校総合文化祭と時期が重なり、大会1週間前から全員そろっての通し練習ができませんでした。さらに出場順は2番目。十分な調整ができない中での本番でしたが、岩田さんは「緊張したけれど、演技が始まると自然と体が動き、練習の成果を出せた。ただ、全体としては悔いが残る部分もあった」と振り返ります。

大会の衣装は保護者の手作りで、「忙しい中、私たちのために作ってくれた」と感謝を忘れません。家族に支えられ、何でも言い合える仲間とともに挑んだ全国の舞台。二人は「来年も全国大会に出場し、表彰台を目指したい」と力強く語ってくれました。

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.115 大洲高等学校肱川分校

みなさんこんにちは！大洲高等学校肱川分校3年の大川こころです。

今年度の大洲高校肱川分校文化祭は、10月17日(土)午前9時から午後2時30分まで開催します。生徒の作品展示や各種発表、バンド演奏のほか、食品販売・バザーなどを行います。全校生徒でアイデアを出し、協力して準備を行い、来場されたみなさんに楽しんでもらいたいと思っています。

また、当日午後1時45分からの講演では、野鳥観察グループ「ヤマセミ22」の会員により、「肱川町の自然から学ぶ」というテーマでお話があります。学校近辺の自然を知ることができる機会なので、私たちも今から楽しみにしています。

みなさんも、ぜひお越しください！



一次回は大洲農業高等学校からですー